



お殿様用(写真左上)とお姫様用(写真右下)。それぞれ栗ご飯や御狩場焼きをベースに、ご飯の量や甘目の食材の有無などで違いのある2種類の弁当を用意

お殿様用 (株)花葉館 ☎55-5888
お姫様用 (株)アルク ☎55-5241

NEWS 仙北市 仙北市商工会

「佐竹北家の栗まんま」10月1日より販売開始！
仙北市商工会は、以前から計画してきた駅弁の開発に取り組み、この度、「佐竹北家の栗まんま」を完成させました。これは、同会の地場産品のブランド化やお土産品開発による地産地消(6次産業化)推進などの経緯を活かし、他機関との連携を図りながら今回開催される秋田ステーションキャンペーンに向けて開発されました。

駅弁はお殿様用とお姫様用の2種類を用意。どちらも仙北市の代表的な食材である西明寺の栗を使用した栗ご飯をメインとし、角館の御狩場焼きや田沢湖を中心とした地元産の旬菜をふんだんに使用した仙北市の魅力を感じてほしい」と詰め込んだ内容です。

「観光客だけでなく、まずは地元の皆様にも認知していただき、愛される商品になってもらいたい」との思いも詰まった弁当は、どちらも1000円(税込)で、10月1日より販売開始。10月1日の正午には角館駅前の特設テントで販売され、10月中の土・日曜日には秋田内陸縦貫鉄道でも購入可能です(いずれも数量限定)。

NEWS 交通死亡事故ゼロ365日達成

県警から顕彰状
仙北市では、8月26日に「交通死亡事故ゼロ、365日」を達成し、9月11日、田沢湖庁舎で顕彰伝達式が行われ、県警本部長からの顕彰状が仙北市の佐々木博紀署長から手渡されました。



県警から贈られた顕彰状

故千葉光一氏 (田沢湖田沢)



高齢者叙勲

昭和56年9月に田沢湖町議会議員に初当選し、平成5年9月まで3期12年の長きにわたり在職。この間、教育民生常任委員会委員長などを歴任し、地方自治発展のため尽力されました。また、昭和50年から農業委員会委員として6期18年、農地の適正管理にも多大な貢献をされました。去る9月12日、秋田地域振興局長で鈴木長彦局長より妻ミホさん、長男光穂さんに授与されました。

ちいきのわだい

仙北市のできごとをお届け

NEWS 9月3日 自殺予防週間街頭キャンペーン

心の健康と自殺予防を呼びかける
傾聴ボランティアアエくほの会員と市職員が、9月10日から16日の自殺予防週間にさきかけて、9月3日にワンダーモールの店頭で自殺予防街頭キャンペーンを行いました。啓発トイレットペーパー、パンフレット、相談窓口チラシなどを配布し、心の健康と自殺予防を呼びかけました。



EVENT 8月31日・角館町 第9回医療と健康を考える集い



丁寧な語り口で講演する飯淵さん

バランス良い食事で毎日楽しもう

医療と健康を考える集い(主催:大曲仙北医師会・仙北市・仙北市医療協会)が「長寿を支える健康な食事」と題し、8月31日に角館榊細工伝承館で開催されました。この集いは、地域住民の心と体の健康の向上のため情報を発信して、健康づくりの大切さに目を向けて取り組んでもらえるように行われ、今回のテーマは「食」。「ナイス!エイジングの食事学」と題し、宮城県食育アドバイザーで管理栄養士の飯淵由美さんが、「バランスの良い食事を上手に食べて毎日を楽しみ、賢く歳を重ねていきましょう」と講演を行いました。もっとも身近なテーマとあってか、会場にはたくさんの人が集まり、講師の話に熱心に聞き入っていました。

NEWS 9月11日・仙北市 第33回秋田県特産品開発コンクール

民芸品部門

奨励賞 (秋田県観光連盟会長賞)



榊細工 素箱 長手盆 無地皮 株式会社 藤木伝四郎商店(角館町)

加工食品部門

奨励賞 (秋田県観光土産品公正取引協議会会長賞)



甘酒(あまえっこ入り)生あんもちし くら吉 有限会社(角館町)

仙北市から奨励賞2点
9月11日に第33回秋田県特産品開発コンクールの表彰式が秋田市のアトリオンで行われ、仙北市内の企業から出品された商品2点が入賞しました。加工食品部門に98点、民芸品部門に50点の出品の中から9点が入賞したこのコンクールは、品質・デザインなど

に優れた作品を表彰することで、本県の特産品の開発や改良を促進し、産業の振興に寄与することを目的として、秋田県(事業委託先:株式会社秋田県物産振興会)が主催し、行われているものです。仙北市の入賞商品は次のとおりです。